

平成 29 年度初級者輸血研修会

平成 29 年 7 月 30 日 長崎大学医学部で「平成 29 年度 初級者輸血研修会」が開催されました。
19 名が受講していただきました。(実務員 12 名)

講演「ABO 血液型、RhD 血液型の基礎知識」

講師：長崎みなとメディカルセンター 城野 智 技師

講演「不規則抗体検査、交差適合試験」

講師：佐世保中央病院 小川 章子 技師

実習「凝集の目合わせ、ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験」

講演「実技研修解説」

講師：長崎大学病院 古賀 嘉人 技師

講演「血液センターからのインフォメーション」

講師：長崎県赤十字血液センター 山下 隆司 先生

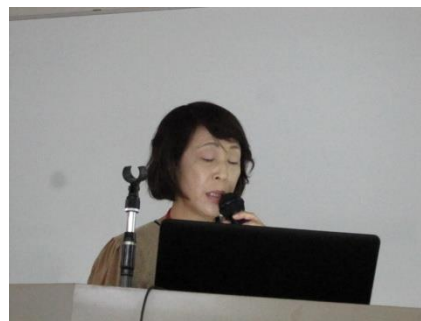
講師：日本赤十字社 九州ブロック血液センター 井上 純子 先生



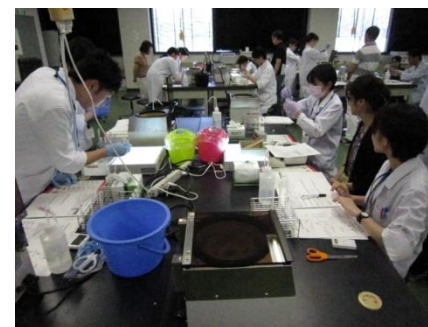
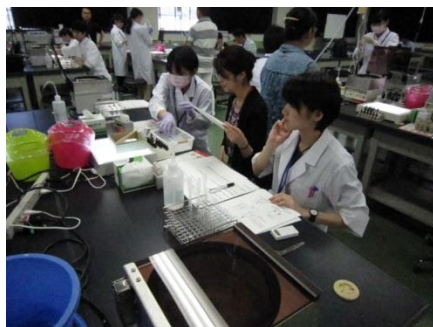
松本班長

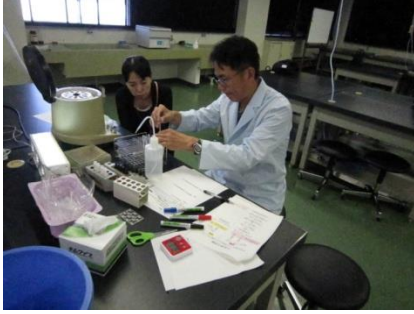


城野技師



小川技師





古賀技師



山下先生



井上先生

受講者の感想

今回講義での復習から実技まで、一通り理解を深めることができました。実技では指導員の方が常に近くにいてくださったので、分からないところはすぐに質問することができたので良かったです。また、凝集判定の目合わせも一緒にすることができ、自分の判定が正しいかどうかをその場で確認してもらえたので見方の復習になりました。今後、自分の病院での輸血検査に今日学んだことを最大限に生かせるように頑張ります。

今まで凝集の見方が曖昧だったため、今日は細かいところまで確認してもらい、凝集の見方やコツがわかるようになってよかった。部分凝集を見逃していたので、これからは部分凝集のことも頭に入れた上で検査していくことが大切だと感じた。検体が3つであったが、それでも試験管立てがごちゃごちゃになったので、検体間違えを防ぐためにも、整理して使うように気をつけたい。クロスマッチ等はくり返し練習することでもっとスムーズにできるように努力していきたい。

手技において注意する点は注意していたつもりでしたが、さらに自分が知らなかった注意点がいくつかあり、自分の手技がいかに甘かったかが分かりました。最後の答え合わせと解説は分かりやすく、詳しく説明して頂きました。凝集の判定で間違っていたところもあったので、今後の業務でより慎重に判定をしようと思いました。

研修生 2 人に対し指導員 1 人という内容がとても良かった。1 人の指導員が複数人の相手をしなくていいので、教えてもらう時間が多く、また質問に対して非常に深い内容まで教えてもらえたのでとても良い勉強となった。こまかな手技の確認、実際のルーチンで気を付けておく点、輸血までの流れなど輸血に関して学ぶ機会が少ない人にとってはとても良い研修会だと感じた。

名前、試薬の確認、5%血球の作成の仕方など、初心に戻り考えさせられる大変良い機会になりました。現場に持ち帰り、今日の研修を生かしていきたいと思います。実務員の方々、ありがとうございました。

新人で、輸血検査はほとんど経験がなかったが、実習では親身になって丁寧に分かりやすく教えて下さったので、とてもためになった。

輸血の業務に短期間研修をしていてわからなかった血液凝集の程度 1+~2+ など分かりづらかったものが今回の研修でわかるようになり、今後の業務で間違えた判定をしないように気をつけるようにしていきたい。D 陰性確認試験や mf などあまりわかっていなかったことを改めて確認することができ知識がより一層広がり、1つ1つの動作や注意点を教えて頂いたのがわかることができ、参加してよかったと思います。

若い人、新人技師さんの多い中、ロートルの自分にもとてもわかりやすく指導していただき感謝しております。学生時代以来の実習で緊張しましたが大変勉強になりました。ありがとうございました。

受講者の皆さま、猛暑の中の移動・研修参加ありがとうございました。今後の研修会の参加もぜひぜひお願いします。

血液センターの先生方、実務員の皆さまもお疲れ様でした。

会場の設営・片づけ・資材の運搬をしていただいた問屋さん・メーカーさん、猛暑の中のご協力感謝申し上げます。

